

第三者評価結果報告書

総括	
対象事業所名	アスク戸塚保育園
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町4822-12 野村ビル1・2階
設立年月日	平成18年4月1日
評価実施期間	平成26年6月～平成26年9月
公表年月	平成26年12月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市評価基準
総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
【施設の特徴】	
1 立地および施設の概要	
JRおよび市営地下鉄「戸塚駅」より徒歩10分、長後街道に面しています。鉄筋造り2階建ての建物で、0～1歳児は1階、2～5歳児は2階が保育室となっています。園庭は50メートルほど離れた場所にあり、夏はビニールプールを出して、子どもたちは水遊びを楽しんでいます。周辺の公園も、目的毎に分けて使っています。	
2 保育の特徴	
専門講師による体操、英語、リトミック教室が年齢毎にあり、子どもたちは職員と一緒に楽しみながら体験しています。今年度から、新しい知育プログラムを取り入れています。3歳児からは月1回のクッキング保育を実施しています。	
【特に優れていると思われる点】	
1 発達過程に沿った食育	
毎月発行の給食だよりは、設置法人からの記事の他に、園からの情報も掲載しています。年齢によって必要な情報も違うため、クラス毎に内容を変えています。離乳食の進め方、虫歯予防、スプーンや箸の持ち方、クッキング保育のレシピなどを記載しています。	
また、3歳児からはトウモロコシの皮むき、ソラマメのさやむきなどを積極的に体験させて、食育につなげています。自分たちで皮むきしたトウモロコシは、何人も「お代わり」と声が上がりました。毎月のクッキング保育では、5歳児が初めて包丁を使う体験をしています。	
2 保護者とのコミュニケーション	
送迎時には、園内で起きたケガ・事故などを引継ぎノートに記入して、担任がいなくても遅番の職員に引継ぎ、保護者に必ず報告するようにしています。今年度はマイナス面だけでなく、プラス面のエピソード「今日は何を楽しんでいたか」「友達となかよくしていた」なども引継ぎノートに記入して、保護者に報告するようにしました。その結果、保護者アンケートにおいて送迎時における情報交換の満足度や保育園の総合満足度が、昨年度より上昇しています。	

3 環境を補う戸外活動の工夫

園庭が狭いため、天気がよければ、体操、英語、リトミックのプログラムの合間でも、できるだけ散歩に出るようにしています。目的によって、遊具のあるところ、走り回る広い場所のあるところ、遠いところなど公園を変えています。プールについては、昨年度はプール遊びが少なかったため保護者からもっと行なってほしいと要望があり、今年度はできるだけ毎日プールに入るようにしています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1、保育室内の遊びで、子どもが選択し展開できる環境の工夫を

おもちゃや教材は、幼児については子どもの手の届く棚に置いて、好きな時に取り出せるようになっています。しかし、乳児では、職員がおもちゃをその都度出すことが多くなっています。低い棚におもちゃが置いてあっても、かごに入っていて子どもにはわかりにくくなっています。写真や絵でわかるようにして、子どもがおもちゃを選んで遊べ、片づけることができることが望まれます。

2. 幅広い地域支援を

保護者の協力により、地域住民に向けた「子育て講座」を毎年行っています。相談事業のポスターを門扉に貼り、それを見て相談に来る地域住民もいます。さらに支援ニーズを把握して、交流保育など幅広く地域支援を行うために、園として何ができるかを定期的に話し合うことを期待します。

評価領域ごとの特記事項

1.人権の尊重

- ・運営理念は「安心・安全を第一に」「いつまでも思い出に残る保育を」「本当に求められる施設であること」「職員が楽しく働けること」であり、園目標は「元気なあいさつ・明るい笑顔」「花や緑を大切にしよう」「みんなの町をきれいにしよう」であり、子どもを尊重するものになっています。
- ・職員は叱るときも子どものストレスにならないように配慮し、子どものケンカするときも、お互いの気持ちを察し、仲裁しながら穏やかに話をし、中をとりなすようにしています。
- ・子どもの気持ちを汲むように話し、発達や年齢に応じて丁寧に対応しています。
- ・職員の更衣ロッカーのそばのスペースで、威圧感を与えず1対1で話し合うことができます。
- ・設置法人により、個人情報保護マニュアルがあり、守秘義務や個人情報の処理方法などについて、入社時に説明があり、全職員が周知しています。
- ・遊びや役割、食事の席、持ち物、服装、クラス名簿など性別による区別はしていません。
- ・日頃より、職員には性差による差別的発言や態度、固定観念で保育しないように職員会議で話し合っています。

2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

・保育課程は、子どもの発達に従い、子どもの安心感を育みながら成長を促すものになっています。今年度は、スプーンやフォークの正しい持ち方や地域支援について変更しました。

・言葉で理解できる子どもには、朝の会などで職員の意図や思いを伝えていきます。子どもの主体性を尊重して、指導計画を変更できるようにしています。

・散歩はできるだけ、発達段階や目的によって行く公園を選んでいきます。公園の植物にペットボトルで水やりをして植物を大切にすることを育てています。

・子どもには、表情を含めて落ち着いた状態で接し、子どもの気持ちをよく「聴いて」引き出すことを心がけ、信頼関係を築くようにしています。

・子どもに合わせ、少食の子どもは少なめに盛り付け、反対に食事量を制限している子どもも少なめに盛り付けておかわりをして満足できるようにしています。

・保護者会の時に試食会をし10組以上の参加がありました。栄養士から、調理法や味付け、切り方、盛り付けなどの説明をしています。

・乳幼児突然死症候群に対する対策は、保護者にもうつぶせ寝の危険性を説明し、うつぶせにならないように見守っています。午睡時には口や胸に手を当てて、呼吸しているかどうかをチェックして記録しています。

・トイレトレーニングは一人一人の発達状況に合わせていきます。早く「おねえさん・おにいさんパンツ」をはきたい子どもには、無理な場合にはおむつの上に布パンツをはかせて満足感を与えて、急ぎ過ぎないようにしています。

・毎月配付の給食だよりの中に、子どもの発達に合わせ、クラス毎に離乳食の進め方、虫歯予防、箸への移行、レシピなども記載しています。

・今年度は、保護者とのコミュニケーションを、ケガや事故などマイナス面だけではなく、子ども一人一人のプラス面も伝えるようにしています。遅番の職員には、引継ぎノートに記入して伝えていきます。

入園前の面接時に、ならし保育の必要性を説明した上で、それぞれの保護者の事情を聞いています。期間はおよそ1週間を予定していますが、集団保育への不安のある保護者には保護者同伴の期間を設ける、職場復帰の時期に合わせるなどの配慮をしています

・個別のケースは職員会議で話し合い、設置法人の発達支援チームの巡回訪問や、保護者の同意を得て、横浜市戸塚地域療育センターから助言や情報、訪問などの連携をとっています。



<p>3.サービスマネジメントシステムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー食品除去について、一つ一つチェックして記入した献立を、保護者に渡しています。トレイには一人一人名前を書き、アレルギー疾患のある子どもの食器は内容を記したラップで覆い、机を別にして職員も食事の最後までそばについています。お代わりも別にしてしています。配膳の際には、献立表と実物を見ながら栄養士と職員が確認を行っています。 ・要望・苦情については職員会議で話し合い、伝達ノートで全員が周知できるようになっています。苦情はクレーム受理票に記録して保管し、解決に活かしています。子どものサンダル履き登園についての意見があり、サンダル履きをやめるようにすぐに改善しました。 ・保育中に体調を崩した子どもには、保護者に連絡を入れ、必要があればお迎をお願いしています。子どもがけがをしたときには、軽傷であっても保護者に連絡をしています。 ・健診結果は必要な場合には個別に保護者に連絡しています。歯科健診の結果は、虫歯のあるなしだけでなく、虫歯の場所も明示した文書にして、保護者に渡しています。 ・感染症・衛生・安全管理マニュアルがあり、毎年必要な時期に園内でマニュアルの読み合わせを行っています。 ・事故や災害が発生した時は、緊急連絡機関のリストにより連絡できる体制ができており、保護者にも迅速に連絡しています。「緊急時引き渡し票」に基づいて子どもを引き渡しています。
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の門扉には、毎週水曜日に育児相談日を設けている旨の掲示をし、0歳児の遊び方についての相談がありました。また、月に5～6名程度園見学时に育児相談を受けて記録しています。 ・月1回行う、横浜市戸塚区の園長会で地域の子育てのニーズについて話し合いを行っています。 ・職員会議で地域の子育てについての話し合いはしていますが、地域の子育て支援ニーズについて定期的に職員間での話し合いは、まだ、行われていません。 ・地域住民に向けて、保護者の方の協力により、「子育て講座」を毎年9月に実施し、約10名の方が参加しています。 ・園の夏祭り、運動会には、ポスターを地域の商店の協力を得て貼り出し、運動会には地域の卒園時が参加するプログラムを入れて参加してもらっています。
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の倫理規定は就業規則に明示され、設置法人にはコンプライアンス委員会が設置されており、職員は規範を遵守するよう周知されています。 ・設置法人のホームページに環境への取り組みが明文化されており、園目標には「花や緑を大切にしよう」を掲げ環境に配慮し、職員は日頃より取り組んでいます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・主任は個々の職員の業務状況を把握し、個々の職員の能力や経験を理解し、保育指導を行い、職員が良好な状態で仕事に取り組めるように業務を行っています。園長が主任に話すと常勤職員全員に伝わり、常勤職員からの意見は主任がまとめて園長に伝え、園全体のコミュニケーションがスムーズに行われています。 ・設置法人より事業運営に関わる情報は、職員に伝え共有し、園長会議で報告・検討された内容は、職員会議で話し合い、園での対策や改善点を検討しています。 ・平成25年4月に5年長期計画を策定し、地域に開かれた保育園を目指す、積極的な運営委員会、小学校との連携を掲げています。また、中期計画としては地域交流としての自分達から積極的にあいさつし、保育園の存在を知ってもらう、保護者とのコミュニケーションを積極的に図るなどをテーマとして掲げています。
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は毎年目標をたてて、研修計画を組み立てています。前期が終わると評価・反省をし、後期の計画を見直しています。後期が終わると、1年分の達成度を評価・反省し、次年度の課題へとつなげています。 ・新人職員と経験のある非常勤職員とを組み合わせるなどのバランスよく配置するよう配慮をしています。 ・職員は年2回、保育士としての業務を行う上で客観的に見る自己評価を行っています。職員の自己評価、第三者評価を踏まえて、園としての課題を話し合っています。 ・職員は現場での判断を任されていますが、必ず連絡・報告・相談するようにしています。判断に迷った時は園長に相談し、園長が不在の場合は電話で連絡するようにしています。 ・職員は現場での判断を任されていますが、必ず連絡・報告・相談するようにしています。判断に迷った時は園長に相談し、園長が不在の場合は電話で連絡するようにしています。



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の運営理念は「安心・安全を第一に」「いつまでも思い出に残る保育を」「本当に求められる施設であること」「職員が楽しく働けること」であり、園目標は「元気なあいさつ・明るい笑顔」「花や緑を大切にしよう」「みんなの町をきれいにしよう」であり、子どもを尊重するものになっています。 ・基本方針に沿った保育になるよう努めていて、たとえば「思い出に残る」保育となるよう、トウモロコシの皮むき、ソラマメのさやむきなど、子どもの感動を引き出すような保育をしています。 ・保育課程は、年度初めに非常勤職員を含めた各クラスの意見を出し合って、作成しています。今年度は、スプーンやフォークの正しい持ち方や地域支援について変更しました。 ・保育課程に基づいて、年齢ごとに年間指導計画、月間指導計画、週案、デイリープログラムを作成しています。 ・子どもの主体性を尊重して、指導計画を変更できるようにしています。例えば、子どもの希望を取り入れて散歩をやめ室内での製作に変えたり、鬼ごっこをしたいという子どもの意見により公園を変えたりしています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前の面接時に把握した事項は、子どもの観察を含めて面接シートに記録して個人別にファイルしています。 ・入園前の面接時に、ならし保育の必要性を説明した上で、それぞれの保護者の事情を聞いています。期間はおおよそ1週間を予定していますが、集団保育への不安のある保護者には保護者同伴の期間を設ける、職場復帰の時期に合わせるなどの配慮をしています。 ・0～2歳児は個別に保育連絡ノートがあり、家庭の様子や園での様子を密に連絡するようにしています。 ・進級したことによる在園児の不安や緊張をやわらげるため、スキンシップや声掛けを頻繁にしたり、同じフロアの場合は元の担任が保育に入ったりすることもあります。 ・各指導計画には評価反省欄があり、その時の子どもの状況を踏まえて評価反省を行い、次の指導案の見直しをしています。 ・評価・改訂には、保護者会での意見や行事のアンケート、個人面談ほか日常のコミュニケーションの中で得られた保護者の意向も反映しています。今年度は、プール遊びを多く取り入れて欲しいという要望を取り入れました。

I-3 快適な施設環境の確保



・保育室や玄関・階段・トイレなどは、マニュアルに基づき清掃し、清掃記録に記録しています。園内環境係を設け、草取りなど園の周囲も清掃しています。シーツ、タオル、ぬいぐるみ、おもちゃなどもそれぞれ期間を決めて洗濯、消毒をしています。

・各保育室に温湿度計があり、23～24度を目安にしていますが、体感により調節しています。冬場乾燥する場合には加湿器や、濡れタオルを干すなどの工夫をしています。

・3～5歳児はワンフロアになっているため、楽器や運動会・発表会の練習など大きな音を出す場合には、クラス同士で調整したり、2歳児の保育室と交換したりしています。

・2歳児以上も、夏のプールや散歩などで汗をかいたあとにはシャワーを浴びています。

・低年齢児では、パーテーションや牛乳パックで作った仕切りなどを使って、小集団保育ができるように工夫しています。

・朝夕の合同保育の時間は、異年齢児が一緒に過ごしています。体操やリトミック、散歩なども異年齢で行うことがあります。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



・0～2歳児には、個別指導計画を作成しています。幼児についても、特に配慮が必要な子どもには、個別指導計画をたてています。

・毎月、目標や計画を見直すだけでなく、状況に合わせ必要な時には個別の週案を作成することもあります。

・トイレトレーニングなど重要部分を保護者に説明し、同意を得ています。


・子どもや家庭の状況は、決められた書式に記録し、児童票に、入園後の発達記録を0～2歳児は毎月、3歳児以上は3か月に1度記録をしています。

・進級時の申し送りは、重要事項は児童票に記載されて引き継がれ、職員同士も口頭で引き継いでいます。


I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・個別のケースは職員会議で話し合い、また設置法人の発達支援チームの巡回訪問を受けて記録しています。
- ・保護者の同意を得て、戸塚地域療育センターから助言や情報、訪問などの連携をとり、それをもとに、職員会議などで話し合っています。
- ・障がい児も障がいのない子どもと一緒に行動できる場合は一緒に行動し、「前の人と間があいてもいいんだよ」などと同じ行動ができないことを他の子どもに説明するなど配慮をしています。
- ・家庭支援の必要な保護者には祖母などの家族とも連絡を取って援助し、虐待の予防に努めています。戸塚区福祉保健センター保健士、横浜市南部児童相談所、戸塚区生活保護課の職員とケース会議を行って連携しています。
- ・アレルギー食品除去についての医師からの指示書と保護者の承諾書をもとに、栄養士と面談を行って、一つ一つチェックして記入した献立を、保護者に渡しています。
- ・トレイには一人一人名前を書き、アレルギー疾患のある子どもの食器は内容を記したラップで覆い、机を別にして職員も食事の最後までそばについています。お代わりも別にしてしています。配膳の際には、献立表と実物を見ながら栄養士と職員が確認を行っています。
- ・外国籍の保護者と現在は意思疎通に困っていませんが、必要であれば英語表記の書類なども準備することができます。中国語の出来る保護者から簡単な中国語を習いました。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I - 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望・苦情を受け付ける担当者は園長で、第三者委員に保護者が直接苦情を申し出られるように、玄関に氏名と連絡先を掲示しています。 ・意見箱を設置し、保護者会や行事後のアンケートなどで保護者の意見を進んで聞いています。 ・自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対しては、職員や園長から積極的に話しかけて意見を聞き出すようにしています。 ・要望・苦情については職員会議で話し合い、伝達ノートで全員が周知できるようになっています。 ・苦情はクレーム受理票に記録して保管し、解決に活かしています。子どものサンダル履き登園についての意見があり、サンダル履きをやめるようにすぐに掲示しました。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ - 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や発達に従って、手先を使うおもちゃや教材を用意したり、体を動かすスペースを確保するためにロッカーを移動させたりして工夫しています。 ・一斉活動では、ルールを守ることや、「貸して」「あとで」などの言葉を使って譲ることを覚えて、みんなで一緒に楽しく遊ぶことを学んでいます。 ・散歩はできるだけ、発達過程や目的によって公園を選んでいます。公園の植物にペットボトルで水やりをして植物を大切にしている気持ちも育てています。プールも入れる時はなるべく入るようにしています。 ・3歳児からは粘土・自由画帳・クレヨンが個人持ちで、個人の引き出しから自由に出して使っています。3歳児以上が部屋を仕切って使っているため、はさみやのりは周囲に小さい子どもがいないときに職員が出して使えるようにしています。牛乳パックや裏紙、気泡緩衝材なども用意しています。 ・遊びの中で子どもが自由に歌ったり、ぬり絵や絵を描いたりしています。職員に絵や文字の手紙を書いて渡すのが、子どもたちの間に流行しています。 ・子ども同士で解決できる場合は、なるべくそばで見守っています。言葉でうまく言えない年齢の場合は、代弁しています。かみつきの場合は、傷口を見せて「痛いんだよ」と言い聞かせ、そばについているようにします。 ・子どもには、表情を含めて落ち着いた状態で接し、子どもの気持ちをよく「聴いて」引き出すことを心がけ、信頼関係を築くようにしています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラスでは、絵本やおもちゃ・教材が低い棚に置いてあり、自分で取り出して遊べるようになっています。乳児クラスであっても、好きなおもちゃを自分で取り出して遊べるような並べ方の工夫が期待されます。

Ⅱ－1 保育内容[生活]



- ・授乳や離乳食を食べさせるときは、子どもが飲み込む様子をよく見ながら与えています。
 - ・子どもが自分から食べたい意欲を大事にして、0～1歳児の場合は手づかみで食べるときも見守っています。苦手なものの場合も自分から食べたいようになるように声掛けをしますが、強制したり叱ったりすることはありません。
 - ・クッキング保育は、年齢に合わせ、3歳児はトウモロコシやソラマメの皮むきから始めておにぎりを作ったりしています。5歳児は、初めて包丁を使う体験をしました。
 - ・子どもに合わせ、少食の子どもは少なめに盛り付けたり、反対に食事量を制限している子どもも少なめに盛り付けておかわりをして満足できるようにしています。
 - ・保護者会の時に試食会をして10組以上の参加がありました。栄養士から、調理法や味付け、切り方、盛り付けなどの説明をしています。
 - ・乳幼児突然死症候群に対する対策は、保護者にもうつぶせ寝の危険性を説明し、うつぶせにならないように見守っています。0歳児は5分毎、1歳児は10分毎に口や胸に手を当てて、呼吸しているかどうかをチェックして記録しています。
 - ・トイレトレーニングは一人一人の発達状況に合わせています。早く「おねえさんパンツ」「おにいさんパンツ」をはきたい子どもには、無理な場合にはおむつの上に布パンツをはかせて満足感を与えて、急ぎ過ぎないようにしています。
 - ・おねしょは発達によるものであると職員は周知しており、おねしょをしても叱ったり辱めたりせず、子どもの気持ちを考えて、早めに起こしてトイレに連れていったり、おねしょシートを用意したり、パンツの上にもう一枚はかせたり工夫しています。
- <工夫している事項>
- ・毎月配付の給食だよりの中に、子どもの発達に合わせ、クラス毎に離乳食の進め方、虫歯予防、箸への移行、レシピなども記載しています。

Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- ・健康管理マニュアル沿って一人ひとりの健康状態を把握し、「健康に関する台帳」に記録しています。
- ・保育中に体調を崩した子どもには、保護者に連絡を入れ、必要があればお迎えをお願いしています。その日の子どもの体温や園での様子は連絡ノートに記載して、職員間の引継ぎを行い保護者に伝えていきます。
- ・食後の歯磨きは1歳児から実施しています。子どもが磨いた後は、職員が仕上げ磨きを行っています。
- ・健康診断は年2回、歯科健診は年1回嘱託医により行ない、診断等の結果は個人ファイルの健康記録表に記録し保管しています。
- ・健診結果は必要な場合には個別に保護者に連絡していません。歯科健診の結果は、虫歯のあるなしだけでなく、虫歯の場所も明示した文書にして、保護者に渡しています。
- ・感染症マニュアルには登園停止基準や保育中に感染症の疑いが生じた場合の対応が明記されているとともに、「入園のご案内」の中に感染症についての一覧表などを掲載し、園内に掲示して保護者にも周知しています。
- ・保育中に感染症を発症した場合は、すみやかに保護者に連絡し、迎えを依頼し、ほかの子どもに感染しないように事務室や保育室の一角で過ごすようにするなど留意しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理
[衛生管理]





- ・設置法人により衛生管理マニュアルが整備され、設置法人がその都度検討し見直しを行っています。園では職員会議で全職員による読み合わせを行い、日頃の衛生管理に努めています。
- ・入社時に衛生マニュアルの研修があるほか、階層別の研修や自由選択の研修を行っています。毎年感染症が流行する時期などに園内でマニュアルの読み合わせを行い、衛生管理に努めています。
- ・マニュアルに沿って清掃等を行い、「保育室清掃記録表」やおもちゃなどの「消毒箇所表」に記録し確認しています。

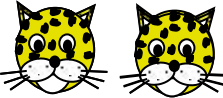

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理
[安全管理]



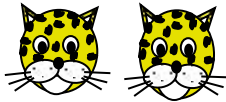


- ・設置法人には安全管理マニュアルが整備されており、マニュアルに沿い、職員会議やミーティングで、安全と安心を第一に万全の安全対策を講じるよう全職員に周知徹底しています。
- ・地震などを想定し、背の高い布団庫やロッカーには、転倒防止の突っ張り棒を施し、落下防止のストッパーとしてゴムを突っ張り棒の間に渡して安全対策を施しています。
- ・防災訓練年間計画を策定し、毎月1回、定期的に地震、火災に伴う消火、通報、救護などの訓練を実施しています。
- ・職員は日本赤十字社の幼児安全法の研修を受講し、現在、5名の職員が習得しています。
- ・事故や災害が発生した時は、迅速に、まず保護者に連絡しています。緊急時は、「緊急時引き渡し票」に基づいて子どもを引き渡し、緊急時には職員は緊急連絡機関のリストにより連絡できる体制ができています。
- ・子どもがけがをしたときには、軽傷であっても保護者に連絡をしています。
- ・玄関はオートロック式になっており、来訪者を確認してから開錠しています。
- ・各保育室の出入り口は日常的に施錠し、警備会社への緊急通報装置を常備しております。散歩時には、携帯電話とGPS機能付きの警備会社の発信機を持参し、万一の緊急時に備えています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの言葉遣いや対応については、日々の保育の中で職員相互に配慮し、職員会議で話し合い、振り返るようにしています。 ・職員は叱るときも子どものストレスにならないように配慮したり、子どもの気持ちを汲むように話し、発達や年齢に応じて丁寧に対応しています。 ・職員会議などで子どもの人権を尊重した保育について確認し合っています。子どもの呼び方は、入園時に保護者からどのような呼び方にするかを聞き、呼び捨てにならないように全職員が徹底しています。 ・設置法人により、個人情報保護マニュアルがあり、守秘義務や個人情報の処理方法などについて、入社時に説明があり、全職員が周知し、保護者へは入園時の説明会で説明しています。 ・名簿は五十音順とし、身長順に整列し、遊びや役割、食事の席、持ち物、服装など性別による区別はしていません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室は段ボールや牛乳パック、備品で仕切りをし、プライバシーを守る工夫をしていますが、子どもが一時安らぐ空間創出の工夫を期待します。
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は、保育の基本方針について入園説明会や4月当初の全体の懇談会、クラス懇談会で説明しています。 ・保護者との連絡ノートは0～2歳児で定型様式のもの、3～5歳児は保護者の希望により、個別の連絡ノート「おたよりぼすと」や市販のノートを利用しています。 ・保護者の個別面談は年2回行い、保護者懇談会は全体の様子を説明し、その後分かれてクラス懇談会を実施して、クラス全体の日中の生活や遊びの様子を伝えています。 ・個別の相談は事務室を利用してカーテンで仕切り他の人に個人情報が出ないように配慮し、相談記録は「個別面談記録」に記録して、職員のフォローや業務の改善に活かしています。 ・子どものその日の様子は、「クラスノート」で知らせています。日常の保育の様子、行事の様子などの写真はホームページに「イベント情報」として掲載しています。 ・保育参観は年2回期間を設けて行い、保育参加のクッキングでは、子どもたちと一緒にしています。 ・5歳児の保護者の要請で、入学に向けての意見交換会に保育室を提供していますが、保護者の自主的な組織はありません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の集まりでの意見交換会などが、保護者会へ発展することが期待されます。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者とのコミュニケーションを、ケガや事故などマイナス面だけではなく、子ども一人一人のプラス面も伝えるようにしています。遅番の職員には、引継ぎノートに記入して伝えています。その結果、利用者家族アンケートの送迎時の情報交換の満足度が、昨年度より上がりました。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="180 237 707 297">Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の園に対する要望を把握するための具体策はまだ講じていません。 ・地域住民から0歳児の遊び方についての相談があり、また、月に5～6名程度園見学時に育児相談を受けて記録し、ニーズを把握に努めています。 ・月1回行う、横浜市戸塚区の園長会で地域の子育てのニーズについて話し合いを行っています。 ・職員会議で地域の子育てについての話し合いはしていますが、地域の子育て支援ニーズについて定期的に職員間での話し合いは、まだ、行われていません。 ・一時保育、園庭開放は実施していません。交流保育も検討していますが、具体的には決まっています。 ・地域住民に向けて、保護者の方の協力により、「子育て講座」を毎年9月に実施し、約10名の方が参加しています。 <p data-bbox="722 719 935 745"><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の際の備品や本の貸し出しなどを行い、地域住民の交流の中でニーズの把握に努め、定期的に職員会議などを通じて話し合いの機会を作ることを期待します。 ・地域住民との交流を増やして、専門性を活かした子育て支援のサービス提供の取り組みを期待します。
<p data-bbox="180 987 707 1048">Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の門扉には、毎週水曜日に育児相談日を設けている旨の掲示をし、0歳児の遊び方などについて相談を受けてアドバイスを行っています。 ・園の夏祭り、運動会には、ポスターを地域の商店の協力を得て貼り出し、運動会には地域の卒園時が参加するプログラムを入れて参加してもらっています。 ・横浜市戸塚区役所こども家庭支援課や戸塚地域療育センター、病院、戸塚区福祉保健センター、横浜市こども青少年局保険運営課、近隣の保育園、小学校と日常的に連携をとり、職員会議においても連絡し、職員間で共有しています。




評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りや運動会には、ポスターを園の玄関に貼ったり、近隣の店舗に掲示してもらい、地域の方の参加を呼びかけ、卒園児に招待状を発送して、地域の子どもの参加を得ています。 ・上倉田地域ケアプラザと連携して敬老の日には「ふれあい会」を一緒に行い、園児が歌と踊りを披露しています。 ・地元の矢部小学校とは、運動会には体育館を借りて行い、また、年長児が就学前に、小学校の交流会に参加して、連携を図っています。 ・遠足では辻堂交通公園、散歩時には矢沢公園、せんば公園、踊場公園やログハウス、図書館、タイヤ公園、上倉田地域ケアプラザなどを利用しています。 ・散歩の際には、近隣の商店や公園の利用者など、地域の方と積極的に挨拶を交わしています。 ・玄関フロアに地域の矢沢町内会のお祭りの案内を掲示し、子どもたちは日曜日に参加しています。 ・施設開放や備品・遊具の貸し出しは行っていません。 <p>＜コメント・提言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の貸し出しなど、地域住民が利用できる工夫が期待されます。
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の運営やサービス内容は、「入園のご案内」のパンフレットや設置法人のホームページで情報を提供しています。 ・入園案内は戸塚区役所や子育て支援スペース「とっとの芽」に置いています。また、インターネットでは、「まみたん園ナビ」や「横浜タウンナビ」などに基本情報を掲載しています。 ・入園希望の見学者には、料金やサービス内容、延長料金や夕食・主食代について伝え、「入園のご案内」を渡して詳しく説明しています。 ・園のサービス内容についての問い合わせには、見学ができることを伝え、園長が説明し対応しています。 ・見学は行事のないときで、園児の午睡の時間や登降園の時間を避けてもらい、なるべく園児が活動している時間帯に見学することを勧めています。
<p>Ⅳ－３ 実習・ボランティアの受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人による実習生受け入やボランティア受け入れマニュアルは整備され、園としての基本方針を説明しています。 ・実習生に対しては、誓約書を提出してもらっています。 ・実習生・ボランティアは双方とも受け入れに当たっての担当者は、園長と定めています。 ・実習生の実習プログラムがあり、オリエンテーションから始まり、実習内容、学年や学校が求めている内容を勘案して、観察実習、部分実習、責任実習などを効果的に実習が行われるように努めています。 ・現在、ボランティアは保育補助として1名受け入れ、玄関フロアに掲示し保護者に情報提供しています。

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・異動・産前産後休暇・育児休暇などで職員の人数が足りなくなった場合には設置法人に補充を依頼しています。 ・職員は毎年目標をたてて、研修計画を組み立てています。前期が終わると評価・反省をし、後期の計画を見直しています。後期が終わると、1年分の達成度を評価・反省し、次年度の課題へとつなげています。 ・外部研修も常勤・非常勤職員とも案内をし、7月には戸塚地域療育センターや横浜女子短期大学の研修を受けました。 ・新人職員と経験のある非常勤職員とを組み合わせるなどのバランスよく配置するよう配慮をしています。 ・パートリーダーを決め、園長からの話を非常勤全員に伝え、非常勤からの意見はパートリーダーがまとめて園長に伝えています。
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は年2回、保育士としての業務を行う上で客観的に見る自己査定を行っています。第三者評価では、各職員の自己評価をもとに園としての自己評価を話し合っています。 ・各指導計画には評価反省欄があり、職員一人一人が自己評価した結果を記載しています。 ・園としての自己評価は、園の理念・方針に沿って、全職員で取り組んでいます。特に公表していません。 ・職員は現場での判断を任されていますが、必ず連絡・報告・相談するようにしています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園としての自己評価を、園だよりや掲示などにより公表することが期待されます。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士人材育成ビジョンに、経験に応じた役割が期待水準として明文化されています。 ・職員は現場での判断を任されていますが、必ず連絡・報告・相談するようにしています。判断に迷った時は園長に相談し、園長が不在の場合は電話で連絡するようにしています。 ・職員会議で業務改善の提案を聞いたり、職員間のノートや日常的な相談、食事会での雑談の中から聞いています。 ・年度末には面談をして、職員の満足度・要望を聞いています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の倫理規定は就業規則に明示されており、職員はそれに沿って業務を遂行し、また、法人本部にはコンプライアンス委員会が設置されており、職員は規範を遵守するよう周知されています。 ・園長会議では他施設の不正・不適切事例の報告事項を受けて、職員会議などで内容を全職員に伝え、話し合いそれらの行為を行わないように啓発・指導に努めています。 ・職員は新聞広告やカタログ雑誌で折り紙を作り、保育の中で利用したり、コピー用紙や裏紙を再利用してごみの減量化に努めています。 ・省エネルギーの促進のために待機電力チェックシートを作成し、最後に退園する職員が確認しています。 ・設置法人のホームページに環境への取り組みが明文化されており、園目標には「花や緑を大切にしよう」を掲げ環境に配慮し、職員は日頃より取り組んでいます。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念と基本方針は明文化され、玄関フロアに掲示し、職員に周知されています。 ・園長が職員会議やリーダー会議、面接で職員に理解度を確かめ周知されているか確認しています。 ・園長は重要な決定事項については、運営委員会、保護者懇談会、行事後のアンケートなどで意見聴取し、その意見を意思決定に反映させています。 ・重要な意思決定については、職員会議の議題に挙げて検討し、保護者会で十分に説明してから決定しています。また、職員間で協議し変更がある場合は、保護者に理由・経過説明を掲示し、園だよりで報告しています。 ・主任クラスの職員は本部にてスーパーバイザーとしての育成プログラムを受講する機会があります。 ・主任は個々の職員の業務状況を把握し、個々の職員の能力や経験を理解し、保育指導を行い、職員が良好な状態で仕事に取り組めるように業務を行っています。 ・園長が主任に話すと常勤職員全員に伝わり、常勤職員からの意見は主任がまとめて園長に伝え、園全体のコミュニケーションがスムーズに行われています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人より事業運営に関わる情報は、職員に伝え共有し、園長会議で報告・検討された内容は、職員会議で話し合い、園での対策や改善点を検討しています。 ・運営面での重要な改善課題については職員会議で周知し、園全体として検討・取り組んでいます。 ・平成25年4月に5年長期計画を策定し、地域に開かれた保育園を目指す、積極的な運営委員会、小学校との連携を掲げています。また、中期計画としては地域交流としての自分達から積極的にあいさつし、保育園の存在を知ってもらう、保護者とのコミュニケーションを積極的に図るなどをテーマとして掲げています。 ・設置法人は幹部職員育成プログラムを設定し、計画的に人材育成を図っています。 ・設置法人は、行政、学界など外部の各分野の分野の専門家からの意見聴取を行い、時宜にマッチした施設運営に反映するよう努めています。職員は、リスクマネジメントの講座として、保育園で起こりやすいケガと手当などについて学んでいます。

利用者家族アンケート

施設名:アスク戸塚保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数64名、全保護者52家族を対象とし、回答は32家族からあり、回収率は62%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

肯定的な回答は97%（満足66%、どちらかといえば満足31%）でした。

◇ 満足度の高い項目

- 1) 入園した時の状況については、6項目全体で肯定的な回答（満足、どちらかといえば満足）が90%であり、また、年間の計画については2項目全体で肯定的な回答が94%であり、保護者が満足しています。
- 2) 保育内容の遊びについては6項目全体で肯定的な回答（満足、どちらかといえば満足）が97%、同じく、生活については7項目全体で95%であり、保護者が満足しています。
- 3) 職員の対応については、5項目全体で肯定的な回答が94%であり、保護者が満足しています。
- 4) 園と保護者との連携・交流については、7項目全体で肯定的な回答が93%であり、保護者が満足しています。このうち、送迎時の子どもの様子に関する情報交換について肯定的な回答が88%（満足57%、どちらかといえば満足31%）を占めています。

◇ 満足度の低い項目

- 1) 保育園の快適さや安全対策については、4項目全体で否定的な回答が18%を占めています。

◇ 基本理念や基本方針の認知について

- 1) 基本理念や基本方針の認知などについて、否定的な回答が35%（あまり知らない22%、全く知らない13%）であり、保護者への丁寧な説明、工夫が望まれます。

調査結果

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	13%	27%	19%	22%	13%	6%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	9%	62%	16%	13%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	65%	19%	0%	0%	16%	0%
その他:面接時に見学した。見学していない。(3件)						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	57%	34%	3%	0%	3%	3%
その他:						
園の目標や方針についての説明には	44%	47%	0%	3%	3%	3%
その他:						
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	72%	22%	0%	3%	3%	0%
その他:						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	66%	25%	3%	3%	3%	0%
その他:						
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	66%	22%	9%	0%	3%	0%
その他:						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	50%	47%	3%	0%	0%	0%
その他:						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	50%	41%	6%	0%	3%	0%
その他:まだよく分からない。(1歳児)						

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	75%	25%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	66%	31%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	53%	41%	3%	3%	0%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	50%	47%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もてているかについては	66%	31%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	55%	42%	3%	0%	0%	0%
	その他:					

生活について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	81%	16%	0%	0%	3%	0%
	その他:まだ食べさせていないので分からない。離乳食中期なので。(0歳児)					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	78%	16%	0%	0%	6%	0%
	その他:まだ食べさせていないので分からない。離乳食中期なので。(0歳児)					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	75%	22%	0%	0%	3%	0%
	その他:まだ自分ではできないので何とも言えない。(0歳児)					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	84%	16%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	54%	28%	6%	0%	9%	3%
	その他:まだその時期ではないので分からない。(1歳児) まだその月齢ではない。(0歳児) 未実施。(2歳児)					
お子さんの体調への気配りについて は	84%	16%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	78%	16%	3%	3%	0%	0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	31%	44%	19%	6%	0%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	41%	43%	13%	3%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	31%	48%	9%	9%	3%	0%
	その他: 玄関の鍵が開いていることがある。					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	53%	34%	13%	0%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	63%	34%	0%	0%	3%	0%
	その他: 長女が既に在園していたので見学はしていない。					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	63%	34%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	57%	34%	6%	3%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	57%	31%	6%	6%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	66%	25%	6%	3%	0%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	72%	19%	6%	3%	0%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	75%	22%	0%	0%	3%	0%
	その他: 該当なし。					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	84%	13%	3%	0%	0%	0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	81%	19%	0%	0%	0%	0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	65%	16%	0%	0%	13%	6%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	84%	13%	0%	3%	0%	0%
意見や要望への対応については	66%	28%	0%	3%	3%	0%

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	66%	31%	0%	3%	0%

観察方式による利用者本人調査

(アスク戸塚保育園)

◇0歳児

(散歩)

2人は職員と手をつなぎ、他の子どもはバギーに乗って、散歩に出発します。園を出てすぐ、歩いている1人が座り込んで歩かなくなったため、職員が抱っこをします。園の周囲をぐるっとまわってもどってきました。帰ってくる間にバギーの中で寝てしまう子どもがいます。そっとそのままゆりかごに寝かせていました。

(遊び)

起きている子どもは、順番にシャワーを浴びてさっぱりします。待っている間はおもちゃで遊んでいます。おもちゃの取り合いになると、職員が抱っこして引き離し、ほかのおもちゃを持たせます。職員がボールをころころころがすのをハイハイで追う子どもがいます。

(食事)

離乳食の子どもと完了食の子どものテーブルにそれぞれ職員がついています。完了食の子どもは、スプーンで食べると「上手！」と職員が誉めています。手づかみで食べたがる子どもには、時々スプーンで食べさせています。離乳食の子どもにはおかずを職員がスプーンで食べさせ、食パンは手に持ちやすいように細くちぎって置き、子どもが自分で持って食べられるようにしています。

離乳食を食べない子どもたちは、パーテーションで区切り、食事のテーブルに行かないようにしています。そこでおもちゃで遊んだり、ミルクを飲ませてもらったりしています。

(午睡)

眠くなった子どもから布団に寝かせます。泣いてしまう子どもは、職員が抱っこしたり、トントンしたり、ゆりかごに寝かせて揺らしています。

◇1歳児

(遊び)

ブロックで遊んでいます。いくつも積み上げた子どもは、「大きい」と言いながら見せにきました。取り合いする子どもには、職員は「やめて、とらないでって言うのよ」とやさしく引き離します。

体操教室では、講師に応じて手を挙げたり手をたたいたりします。「おしり、ひざ、おなか」と講師が言いながらさわると、真似してタッチします。「ワンワンになるよ」

と言うと、よつんばいになり、誉められると喜んでいきます。

(散歩)

バギーに乗る子どもと、歩く子どもに分かれて園を出発です。横断歩道は手を挙げて渡ります。子どもが「あー」と指差すと、職員が「大きい車だね」「バイクだね。何色かな？」と声をかけます。公園に着くと、職員一人はゴミ拾いを始めました。「よーいどん」と職員が言うと、子どもたちはよちよちしながら走り出します。シャボン玉を職員が飛ばすと、顔をほころばせて手でつかもうとしています。水を入れたジョーロやペットボトルを子どもに渡し、土の上に水をかけて絵を描いています。子どもの希望で、職員がキャラクターの絵を描いています。

散歩から帰るとシャワーを浴びます。そのあと、奮闘しながら自分で洋服を着る子どもがいます。

(食事)

食物アレルギーの子どもは別テーブルで、職員が一人つきます。椅子にすわって「お弁当箱の歌」「給食の歌」を歌って「いただきます」をします。散歩で疲れたのか、食べながらうとうとする子どもがいます。職員は声を掛けたり、歩かせたりして目を覚ますようにしています。食べ終わった子どもは、自分で歯ブラシを持ち、そのあと仕上げみがきをしてもらっています。

◇2 歳児

(体操教室)

講師が「手はおしりかな？頭かな？」と問いかけて、「ひざだね。」と言ってから、みんなで挨拶をします。「ワンワンになろう、ライオンになったらガオーって言おう」と言われ、よつんばいになり片手ずつ挙げてガオーと吠える真似をすると「上手だね」と誉めてもらっています。

(プール)

水遊び用のおむつをして、その上に紫外線対策用の長袖を着ている子どもがいます。おしりと足を洗ってから、プールに1人ずつ入れてもらっています。水につかり、子どもたちはしゃぎまわっています。ボールやジョーロ、魚のおもちゃ、ペットボトルなどを使って遊び始めました。職員はシャワーをかけて「トンネルだよ」と子どもたちをくぐらせます。水が顔にかかって嫌がる子どもや、「キャッキャツ」と喜ぶ子どもがいます。

(食事)

プールのあとでおなかですいたのか、始めは静かに食べています。3歳児が皮むきをしてくれたトウモロコシが出ています。口を使って上手に食べる子どもや、一粒ずつ手でとって食べる子どもがいます。職員が「上手に食べたね」と誉めます。

色とりどりのパプリカのサラダ、職員が「何味かな？」と聞くと、「ぶどう味」「イチ

ゴ味」「サクランボ味」などあちこちから声が上がりました。

(午睡)

食事が終わり、歯磨き、仕上げみがきが終わると、絵本を読み始める子ども、自分で着替え始める子どもがいます。「洋服屋さんみたいに、たたもうね。」と職員が脱いだ服を裏返してたたみ、袋に入れます。「トイレには〇〇先生がいるよ」とトイレに促しています。こっちで寝たいと、布団を自分で動かす子どもがいます。

(遊び)

ブロックやビーズでそれぞれ遊んでいます。ビーズをひもに通して「見て見て」と見せに来ます。ボタンはめのおもちゃもあり、気に入って何度もやっている子どもがいます。

◇3歳児

(皮むき)

食事の前にトウモロコシの皮むきをしました。2回目のため、慣れて上手にできています。1回目は、皮をむいたらきれいな黄色い実が出てくるのでびっくりした子どもがいたようです。

(食事)

手を洗っておとなしく席に着いています。給食当番は各テーブルから、主食のパン、おかず、麦茶を職員から受け取り、テーブルに待っている子どもに配っていきます。待っている子どもは、手を膝にのせて待っています。アレルギー疾患のある子どもはトレイの色を他の子どもと変えて配膳してあります。配り終わると、当番3人が前に出て、今日のメニューを、職員から教えてもらった通り大きな声で言います。中には、まだ箸が十分に使えない子どもがいて、フォークから箸への移行に向けて練習をしていました。

今日は食パンで、耳をとって別々に食べる子ども、形をくりぬく子ども、手でぺったんと延ばす子どもがいますが、職員はあまり行き過ぎるようだと注意をしています。全部食べ終えた子どもには、「お代わりする？トウモロコシが残っているよ」と声をかけ、「トウモロコシなら要る」とお代わりをもらっていました。

食べ終わると自分で片付けていました。食事のマナーをきちんと身に付けていました。まだゆっくりと食べている子どもがいます。

(食後)

食後は自分で歯磨きをして、後で仕上げ磨きを職員がしています。子どもたちはそれぞれが排泄をすませてから、パジャマに着替えています。先生と一緒に布団を敷き、全員が着替えを終わった時点で、職員が本を読み、午睡に入っていました。

◇4歳児

(体操教室)

今日は体操教室の日です。子どもたちは教室の端に膝を立てて座っています。まず、先生が「おはようございます」と挨拶し、続けて子どもたちが「おはようございます」と大きな声で挨拶を交わしました。

先生が「これから体操教室を始めます」と言うと、子どもたちが「ごいっしょにお願いします」と大きな声で応えていました。

手をぶらぶら、足をぶらぶらさせたり、1. 2. 3と足を伸ばす準備運動から始めています。先生が2本の縄を両端持って、台風ゲームを始めました。縄の動きをよく見てみんなキャーキャーと声をあげながら、縄にぶつからないように瞬時に跳びます。機敏な動きの練習をしていました。

◇5歳児

(遊び)

今日はプールの日です。天気の良い日は、熱中症にも気を付けながら戸外の活動を取り入れていました。

職員は、保護者から水遊びの了解を得たプールカードを確かめています。子どもたちはそれぞれ水泳帽をかぶり、ビーチサンダルを履き、水着に着替えていました。保育園より少し離れた近くの園庭まで先生に付き添われて歩いて出かけました。子どもたちが遊ぶ場所には、日中の厳しい日差しを避けるビニールシートが被せてありました。ビニールプールに水を張り、水遊びを始めました。先生は、ビニールシートの上が滑りやすいので、走らないように注意していました。

水遊びが終わると、保育園内のシャワーを浴びて、記名のフェイスタオルでふき取り、着替えの洋服を着ていました。

手を洗い昼食となりました。食事が終わると、子どもたちは職員と一緒に布団を敷いています。全部敷き終わると、先生の前に行儀よく座っています。先生が「すずめのおやど」の絵本を読みます。子どもたちは真剣なまなざしで、食い入るように聞いています。

午後は、運動会に向けてのバルーンの練習と、旗をつかった遊戯の練習をしていました。教室には夏祭り用のおみこしが準備されていました。

【受審の動機】

アスク戸塚保育園は、開園 9 年目を迎えました。これまでの園運営を振り返り、今後の課題を見出すために有効な手段だと考え、毎年第三者評価を受審させて頂いております。開園初年度より同じ評価機関に評価を依頼し、一貫した調査を受けることで比較がしやすく、運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただけると感じております。今年度も、保護者のニーズを把握する絶好の機会、また、同時に職員が自己・自園を見直す良いきっかけになると考え、受審いたしました。

【受審した結果】

今回の評価をもとに、今までの保育を見直す良い機会となりました。今後の保育にも参考にさせていただき、より良いものとしていきたいと思っております。地域の子育て支援ニーズを把握するための取組や、専門性を生かしたサービスの提供につきましては、今後の課題として捉えております。また、保護者の方々のアンケート結果では、保育園に対してのご理解、ご期待を感じる事ができ、私たちのこれからの保育の励みとなり、とても嬉しく思いました。全職員でアンケート結果を共有し、今後の保育にいかしてまいります。

最後に今回の受審にあたりまして、ご利用者調査にご協力いただきました在園児の保護者の皆様、ご尽力いただきました評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。